

令和4年9月30日



守山市 記者提供 資料

担当部署 企画政策課
 担当者 堀井・山田
 電話 077-582-1162
 FAX 077-582-0539

「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」を開催します！

昨年度、市制施行50周年記念事業として開催した「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」について、新たなメンバーで今年度も開催します。

この7月から9月までの3か月間、「Think Globally, Act Locally（地球規模で考え、地域から行動せよ）」の考えのもと、市内在住・在学の中高生25名が「自分たちが地域にできることは何か」の視点のもと、4つのチームに分かれ、様々な課題の中から自分たちが考える市の課題について探求し、ワークショップやフィールドワークを実施しました。

当日はこれまでの活動の集大成として4つのテーマごとに提言を行い、その提言をもとに大人（市議会議員）との意見交換を行います。是非取材にお越しください。

1 日時・場所

令和4年10月2日（日） 午後1時30分から午後4時まで （開場：午後1時）
 守山市民ホール 大ホール(守山市三宅町125番地)

2 サミットテーマ

- A あいさつの花を咲かせようキャンペーン
- B Beyond Gender and Grade～多様な学生が集う新しい学びの場の創設～
- C 在日外国人との多文化共生
- D 環境と芸術で住みよい守山市を

3 主催

守山市総合政策部企画政策課

4 当日のスケジュール

時間	内容
13:30-13:55	開会、市長挨拶、議長挨拶、事業概要説明、当日の進め方説明
13:55-14:15	テーマ A、B の発表
14:15-14:55	市議会議員との意見交換 (藤木猛議員・新野富美夫議員・福井寿美子議員・酒井洋輔議員)
14:55-15:15	テーマ C、D の発表
15:15-15:55	市議会議員との意見交換 (森貴尉議員・西村弘樹議員・藤原浩美議員・川本航平議員)
15:55-16:00	閉会

5 今年度の活動状況

- (1) 7月17日(日) キックオフミーティング
- (2) 8月7日(日)・8月14日(日) 第2回ミーティング
- (3) 8月21日(日) 第3回ミーティング
- (4) 9月4日(日) 第4回ミーティング(プレサミット)
- (5) 9月18日(日) 第5回ミーティング
- (6) 10月2日(日) **サミット本番**



6 昨年度の様子



私たちが守山の未来をつくる中高生サミット 2022

WE MAKE
THE FUTURE
OF MORIYAMA

PRESENTATION
2022

10.2^{SUN}

13:00 START

13:30 — 16:00

守山市民ホール
大ホール



守山市の未来を担う

中高生たちの

グループワークの集大成



守山市 総合政策部企画政策課

10.2
sun

私たちが守山の未来をつくる
中高生サミット2022

守山市の未来を担う中高生たちの グループワークの集大成

「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」は、「Think Globally, Act Locally（地球規模で考え、地域から行動せよ）」の考えのもと、市内在住・在学の中学生・高校生が主役となった取組です。

自分自身のまちを深く知り、より良いまちにしたいという熱い思いをもった中高生が集まり、「自分たちが地域にできることとは何か」の視点のもと、4つのチームに分かれ、身近な地域の課題から社会問題まで、様々な課題の中から、この7月から9月までの間、自分たちが考える市の課題について探求し、ワークショップやフィールドワークを実施しました。

今回はその集大成として、大人（市議会議員）とのサミット（意見交換会）を開催します。

CONTENTS 13:30 13:00 START 16:00

01 各チーム プレゼンテーション

全5回の活動を通じて、それぞれのチームが調査し、話し合いを重ねた守山市への課題に対する提案をプレゼンテーションします。（A・B・C・Dチーム）



02 市議会議員との 意見交換会

各チームのプレゼンテーションに対して守山市議会議員と意見交換を行います。

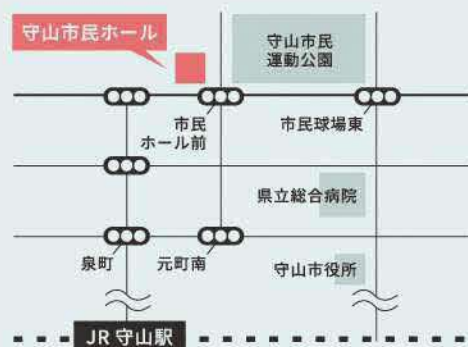


03 市役所からの コメント

市議会議員との意見交換を踏まえ、提案に対する行政の考え方をコメントします。



※写真は2021年のものです



会場

守山市民ホール 大ホール

〒524-0051 滋賀県守山市三宅町 125
TEL 077-583-2532

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催内容の変更や開催中止となる場合があります。

お問い合わせ

守山市 総合政策部企画政策課

☎ 077-582-1162 FAX 077-582-0539

✉ kikakuseisaku@city.moriyama.lg.jp



2021年の様子は
コチラ!

守山市制施行
50周年

WE MAKE THE FUTURE OF MORIYAMA REPORT 2021

守山市制施行 50 周年記念事業
「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」

主催

守山市・守山市制施行 50 周年記念事業推進委員会

中高生サミット部会リーダー

小林 哲也（守山市制施行 50 周年記念事業推進委員会 委員）

中高生サミット部会副リーダー

佐藤 理恵（守山市制施行 50 周年記念事業推進委員会 委員）

ファシリテーター

田口 真太郎（成安造形大学未来社会デザイン共創機構 研究員（助教））

高校生サポーター（発起人）

大崎 永菜（守山市制施行 50 周年記念事業推進委員会 委員）

大学生サポーター

石堂 彩音（滋賀県立大学 1 年）／佐内 愛佳（滋賀大学 1 年）
志賀 慎之介（神戸大学 1 年）／藤居 佳苗（立命館大学 2 年）
山田 悠月（京都教育大学 1 年）／脇 捺夢（滋賀県立大学 1 年）

地域活動アドバイザー

大崎 裕士（守山商工会議所 会頭）
松谷 悦男（鉄人工房マツヤ 代表）
北田 欽也（北田電器株式会社 代表取締役）
鵜飼 重樹（株式会社みらいもりやま 21 代表取締役）
石上 僚（株式会社みらいもりやま 21 ゼネラルマネージャー）
森中 高史（滋賀県総務部長）

守山市議会

藤木 猛（守山市議会議長）／田中 尚仁（守山市議会副議長）
小牧 一美（守山市議会議員）／森重 重則（守山市議会議員）
酒井 洋輔（守山市議会議員）／川本 航平（守山市議会議員）

発行

守山市（2022 年 3 月）



守山市制施行 50 周年記念事業

「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」

活動報告レポート

守山市制施行

50
周年

「私たちが守山の未来をつくる

中高生サミット」

活動レポート

WE MAKE THE FUTURE OF MORIYAMA RPT.2021

03

MESSAGE

守山市長 宮本 和宏
中高生サミットの開催メッセージ

04

INTRODUCTION

「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」
イントロダクション

05

ACTIVITY REPORT

活動報告

07

SUMMIT REPORT

サミットの報告

08

SUGGESTIONS

各チームの提案

08 A ほたるから考える守山の環境デザイン

B 伝統を繋ぐ守山

09 C 飛び出しボーイ～外国人の方が住み良い環境づくり～

D 守山市内の地域間のつながりは必要か？

10 E セクシャルマイノリティ教育の現状と課題



MESSAGE

「中高生サミットの開催メッセージ」

守山市は、2020年7月に市制施行50周年を迎えたところです。

1975年(昭和45年)7月に「町」から「市」に移行し、その後、福祉や都市計画等の権限を持つ中で、市民や地域等と緊密に連携した「住みやすいまちづくり」が展開され、現下の日本全体の人口減少の時代においても、人口増加が続いている状況です。

50周年を機に、守山市では、50年先の将来ビジョンとして「豊かな田園都市 守山」を掲げました。市民が心身共に豊かさを実感する、また、福祉・教育・文化等の豊かさを市民が日頃から感じながら生活できるまち「守山」を目指したいと考えています。

さて、何より、守山市の宝は、市民力・地域力であり、とりわけ中高生等の「若い力」は、守山市の宝物です。

時代は、①コロナ禍とそれに伴う生活スタイルの大きな変化、②地球温暖化に伴う脱炭素社会の実現、③DX(Digital Transformation)の推進、④多様化・複雑化する世界情勢等、大きな転換点にあります。

そしてこの転換点に主役として、大きな力を発揮するのは、前例に囚われない柔軟な発想を持ち、子どもの頃からスマホやパソコンに親しみ、ICTを軽々と使いこなす、次代を担う「今の中高生世代」であると確信しています。

今回の50周年記念事業「中高生サミット」では、このような問題意識から、次代を担う「今の中高生世代」が主役となって、地域の課題から大きな社会問題までの5つの課題について、彼ら彼女たちが度重なる討議の上で、市議会の代表者に具体的な提案を提起し、活発な意見交換を行うこととしています。

地域の課題や、社会問題の解決に繋がる道筋が見えることを期待していますし、何より彼ら彼女たちが「中高生サミット」だけに留まらず、これを機に、時代の主役として地域社会から世界までの大きな視野を持ち、今回の提案の具現化や新たな時代に向けて、仲間や市民、地域の方と共に行動を開始し、時代を変革する大きな力となって欲しいと切に願っています。

守山市長 宮本 和宏 Miyamoto Kazuhiro

INTRODUCTION

「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」

は、守山市制施行50周年の記念事業の一環として「Think Globally, Act Locally」(地球規模で考え、地域から行動せよ)の考えのもと、市内在住・在学の中学生・高校生が主役の取り組みです。地域の人々へのインタビューやフィールドワークを通じて守山市の歴史や課題を知り、守山市の課題に対して「自分たちが地域にでき

ることとは何か」について考え、大人(守山市議会議員の代表者)とのサミット(議論)を行いました。

今回、守山市の学校へ通う中高生15名が参加し、6月から9月までの4ヶ月間で5チームに別れて活動し、10月3日にサミットを開催しました。

本レポートでは、中高生サミットの活動全体と内容についてご紹介いたします。

私たちが守山の未来をつくる 中高生サミットの事業概要

人数	15名(中学生4名・高校生11名)+大学生メンター6名
期間	2021年6月6日～10月3日
主催	守山市・守山市制施行50周年記念事業推進委員会
運営	中高生サミット部会(リーダー 小林哲也、副リーダー 佐藤理恵)
協力	守山市議会

MEMBER

 片山 澄空 滋賀県立守山高等学校 1年	 上田 愛結 私立近江兄弟社高等学校 1年	 川那辺 紗名 私立滋賀短期大学 附属高等学校2年	 石井 裕太 滋賀県立膳所高等学校 3年
 平井 開陸 私立立命館守山高等学校 2年	 北村 俊輝 私立立命館守山高等学校 2年	 川島 彩音 守山市立守山北中学校 3年	 岡本 晴樹 私立近江兄弟社高等学校 2年
 木村 美月 滋賀県立八幡高等学校 1年	 山極 野乃子 守山市立守山北中学校 3年	 赤渕 実蘭 守山市立守山北中学校 2年	 塩崎 心愛 私立滋賀短期大学 附属高等学校2年
 小峠 拓海 滋賀県立膳所高等学校 1年	 武田 翔真 私立立命館守山高等学校 2年	 野村 倫子 滋賀県立守山中学校 1年	

DAY 01
06.06 SUN
キックオフ
14:30 - 17:30



START

自分と仲間と地域とつながり、探求のタネを探す

- 01 ガイダンス（本事業について全体共有） 02 アイスブレイク
03 レクチャー（守山市のこれまでの50年についてを学ぶ）
04 ワークショップ：ストーリーテリング（各自の問題意識や興味関心の掘り下げ）

- 4ヶ月間で本事業を通じて何を行うのか、全員で共有し気持ちを整えました。
- 本事業に関わる人たち（参加者と運営スタッフ）と参加者同士が繋がり、一緒に活動できる関係性を構築しました。
- 守山市の50年の歩みと地域活動の先駆者について学び、地域の全体像を捉えることで、自分たちが関わる地域社会の文脈の中でどんなことができそうか認識し、視野を広げました。
- 参加者同士が深くつながるために、丁寧に自分自身と向き合うストーリーテリングを通じて、一人ひとりの自己紹介シートを作成しました。

DAY 02
07.11 SUN
チームビルディング
14:30 - 17:30



仲間と語り合い、探求のタネを育て、プロジェクトを立ち上げる

- 01 自分に取り組むマイテーマの発表 02 参加者同士で共通するテーマで対話
03 プロジェクトチームの立ち上げ 04 チーム活動の計画を立てる

- 一人ひとりの興味関心や問題意識に応じて、自発的にチームづくりを実施しました。
- 大学生とプロジェクトチームのマッチングを行い、事務局も含めた今後のサポート体制をつくりました。
- チーム活動の計画（フィールドワークやヒアリング）をチームと事務局で進めました。

DAY 03
08.01 SUN
チーム活動
13:00 - 17:00

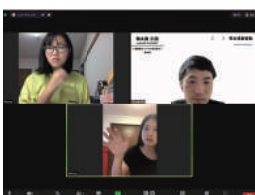
地域と深くつながり、プロジェクトを育てる

市内のフィールドワークおよびヒアリング

- 各チームの進捗状況の確認を行いました。（別紙、活動計画シートの確認）
- 上記シートの内容について、意見交換を行い改善に取り組みました。
- 各チームごとに、8月中に実施するヒアリングを1件以上確定させました。
- 大崎永菜さんとオンラインで意見交換を実施しました。



DAY 03.5
08.09 MON
08.11 WED
オンラインゼミ



プロジェクトの点検

各チームの進捗確認とフォローアップ（予約制で各チームごとに実施）

- 各チームごとにオンラインで進捗を確認し、今後の方向性に関する相談をしました。
- リサーチの状況に応じて、さらに問いを深められるようにアドバイスをもらいました。
- 必要に応じて、次のアクションに向けて事務局でマッチングを支援しました。



サミットの報告

ACTIVITY REPORT

DAY 04
08.22 SUN
中止
CANCEL

※ コロナウイルスの蔓延を鑑みて第4回は中止し、個別に面談対応しました。

探求の成果を振り返り、私たちのビジョンを描く

- 01 8月のリサーチの振り返り
02 実践者（大人）との対話に向けた問いのデザイン

- 各チームのフィールドワーク等の学びの結果を振り返りまとめる活動をしました。
- サミット本番に向けたディスカッションのテーマを絞っていきました。
- 実践者（大人）に対してどのような意見や質問を出すのか考えました。

DAY 05
09.05 SUN
実践者との対話
14:30 - 17:30



実践者（大人）ととことん語り合い、学び合う

- 01 市内の実践者（大人）とのディスカッション
02 ディスカッションの結果をチームごとに振り返る

- これまでの各チームの活動内容をまとめ、実践者（大人）へプレゼンテーションを行いました。
- 各チームが抱えている悩みや疑問点に関して、実践者へ壁打ちを行い、より課題意識の解像度を高めていきました。

DAY 06
09.19 SUN
プレゼン準備
14:30 - 17:30



ビジョンを描き、チャレンジを始める

- 01 これまでの活動内容の振り返りと情報整理
02 当日に向けた最終準備（プレゼン資料作成や発表内容の準備）
03 発表練習や当日の事務的な流れの確認

- プレゼン練習を重ねて当日の発表の流れや各自の発表内容などを固め、残りの準備する内容について詰めました。

DAY 07
10.03 SUN
中高生サミット本番！
13:30 - 15:30

私たちのチャレンジを宣言する

FINISH



SUMMIT REPORT

サミットの報告

日 時 2021年10月3日(日) 13:30 - 15:30 会 場 守山市民ホール 大ホール
参加者 150名 報道 2社(京都新聞/中日新聞)

各チームプレゼンテーション

市議会議員との意見交換

市役所からのコメント

A・BチームとC・D・Eチームの2班に分けて発表



STEP 01 各チーム プレゼンテーション

Aチーム(4名) / Bチーム(6名)
Cチーム(2名) / Dチーム(5名) / Eチーム(1名)

STEP 02 市議会議員との 意見交換会

藤木 猛(守山市議会議員) / 中田 尚仁(守山市議会副議長) / 小牧 一美(守山市議会議員) / 森重 重則(守山市議会議員) / 酒井 洋輔(守山市議会議員) / 川本 航平(守山市議会議員)



STEP 03 市役所からのコメント



当日の様子は
コチラ!

SUGGESTIONS

各チームの提案

- A ほたるから考える守山の環境デザイン P08
B 伝統を繋ぐ守山 P08
C 飛び出しボーイ~外国人の方が住み良い環境づくり~ P09
D 守山市内の地域間のつながりは必要か? P09
E セクシャルマイノリティ教育の現状と課題 P10

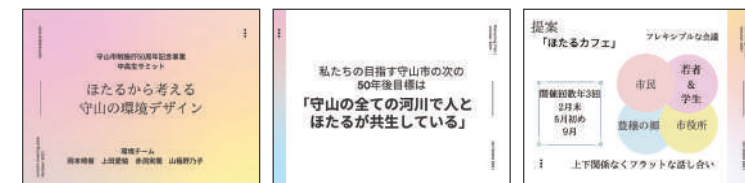
TEAM A

ほたるから考える 守山の環境デザイン

岡本 晴樹 上田 愛結 赤渕 実蘭 山際 野乃子

50年後の守山市の目標を、「守山の全ての河川で人とほたるが共生していること」とし、行政と市民、そして学生や若者が上下関係なく対等に話し合える「ほたるカフェ」を提案。

中高生サミットの活動では、まず自分達が生まれ育った守山の自然環境に興味関心を持つメンバーでチームを結成し、話し合った結果「ほたる」をテーマに調査を実施。NPO法人びわこ豊穡の郷や市役所環境政策課へヒアリングを重ね、情報収集を進めた結果、ほたるを守る活動をする人たちの年齢層の固定化と高齢化という課題に着目した。今後、ほたるを地域で守っていくためには、バラバラに活動する人たちが一丸となって活動していくために、ほたるをテーマにワールドカフェのような対話を定期的実施していくことが必要と考え企画を提案した。



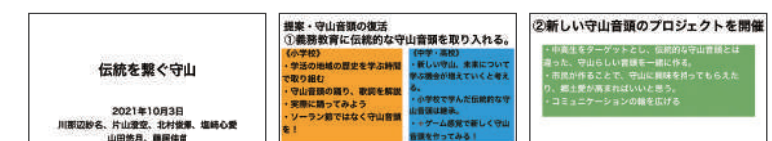
TEAM B

伝統を繋ぐ守山

川那辺 紗名 片山 澄空 北村俊輝
塩崎 心愛 山田 悠月 藤居佳苗

これまでの50年の歴史の中で生まれた「守山音頭」を、50年後の守山市にも継承することで、合計100年の「新たな地域の歴史を紡ぐこと」を提案。

中高生サミットの活動では、初回に守山の商店街の発展や第75内閣総理大臣 代宇野宗佑氏の話など、これまでの50年の地域の歴史の話を聞いたことをきっかけに、もっと知りたいと思ったメンバーが集まりチームを結成。守山の文化とは何か、図書館に通い祭りや地域の歴史を調べ、祭りの話を地元の人に聞いた結果、夏まつりで行われていた守山音頭(総おどり)に着目。守山音頭が生まれた経緯や歌詞や、夏まつりの思い出に共感し、今後も小中学校で学ぶ機会を作ること、そして新しい守山音頭をつくるプロジェクトを立ち上げる企画を提案した。



TEAM C

飛び出しボーイ ～外国人の方が住み良い環境づくり～

平井 開陸 武田 翔真

守山市の次の50年の取り組みとして、「外国人でも居心地が良い地域づくり」に向けて、滋賀県ゆかりの立て看板を活用した意識改革「飛び出しボーイ」プロジェクトを提案。

中高生サミットの活動では、コロナ禍で海外へいくことが難しく、国際交流の機会が少ない状況から、守山市の在日外国人に着目。調査した結果、実際に市内には英語圏ではない中国やベトナム、韓国などの国から来ている人が多く、またヒアリングも行った結果、日本人との交流の場が少ないことが課題となっていた。そこで、在日外国人が身近な存在となるために、滋賀県ゆかりの立て看板「飛び出しボーイ」を学校や国際交流協会と連携して制作し、街中に設置していくことで、誰一人置き去りにしない街にすることを提案した。



TEAM E

セクシャルマイノリティ教育の現状と課題

川島 彩音

守山市の50年後の目標として、誰もが自分らしく生きられる地域にするために、現在学校ではほとんど学ぶ機会のない「セクシャルマイノリティ教育」について提案。

中高生サミットでは、一人でもこのテーマについて考えたいという強い思いからスタートし、図書館での資料収集から着手。その後、書籍では得られない生の声を聞くために、実際に身近な地域で生活する当事者2名を紹介していただきインタビューも実施。調査の結果、書籍での一般論と当事者の具体的な話とでギャップがあることが分かった上で、まずは誰もが正しい知識を知る機会を作っていくことの必要性を再確認した。その結果、ゲームを通じて子どもたちが楽しみながら知識に触れられるような機会をデザインするボードゲームの新たな開発に取り組みたいことを提案した。



TEAM D

守山市内の地域間のつながりは必要か？

石井 裕太 小峠 拓海 木村 美月 野村 倫子 志賀 慎之介

守山市で生まれ育ったメンバーが、同じ市内でも自分の住む学区以外の地域とのつながりが薄いことに違和感をもったことから、50年後の守山の未来を考え、改めて地域のつながりのあり方について問いをぶつけた。

中高生サミットの活動では、自分の生活するエリア以外に行かなくても十分に満足して生活できてしまう今、改めて地域間でのつながりが必要なかをメンバーで話し合うことから開始。同級生100人へのアンケートも実施し、改めて今の若者の意見をまとめた結果、やはり地域間のつながりは必要であることを再確認した。しかし、時代に応じてつながりの必要性は変化することも整理した上で、改めて今回の中高生サミットのような子どもと大人たちが地域のつながりについて議論し続けられる場の必要性を提案した。

